

2019 年度（令和元年）事業報告書

〔2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日〕

法人の名称 特定非営利活動法人 神奈川フードバンク・プラス

1、事業の成果

- ① 入荷数量 23,687kg （前年度実績 14,151kg） 前年比 +9,536kg
- ② 配布数量 21,616kg （前年度実績 13,051kg） 前年比 +8,565kg
- ③ 配布先施設・団体数 50 団体（横浜市内と横須賀市内）

2、事業の内容

〔横須賀地区の活動〕

- ① かもめ団地での困窮高齢者への食品支援は、2 か月毎に継続した。配布先世帯数は、次第に増えて、50 世帯強。しかし、対象者が、年間で 10 人ほど亡くなるので全体としては、多少増えたという数字になる。
- ② 横須賀市からの委託事業を始めた。横須賀市生活福祉課へ食品を定期的に届ける作業費が委託事業として認められた。340,000 円。その他に市内ホームレスへの巡回相談事業と人数調査事業で、60,000 円。合計 400,000 円。
- ③ 障がい者の作業所やグループホームへの出荷が増えた。合計 20 団体が新たに増えた。
- ④ 講演会を実施。2019 年 9 月 28 日。テーマ：SDG's と食品ロス削減。
講師：小島政行氏（NPO 法人プラスチックフリージャパン理事長）
- ⑤ 母子福祉会を通じてのひとり親家庭への配布は、毎月 20 世帯で継続している他、直接配布しているひとり親家庭も 20 世帯ある。
- ⑥ 子ども食堂への支援は、2020 年 3 月のコロナ禍勃発以前とそれ以前とは様子が全く異なる。3 月迄は、横須賀地区は、5 か所で継続的に食品や飲料を提供した。3 月上旬の休校措置以降は、子ども食堂での食事会も無くなり、弁当の提供に切り替えたところもあり、必要に応じて食材を提供した。横須賀市教育委員会からは、使えなくなった給食用食材が提供された。約 15kg。
- ⑦ よこすかエコフェスティバル実行委員会で、フードドライブを実施。約 20 kg 分集まった。

〔横浜地区の活動〕

横浜市中区の学習支援塾や子ども食堂（中区・金沢区）への食材提供、反貧困神奈川年末相談会での食品提供などを続けた。